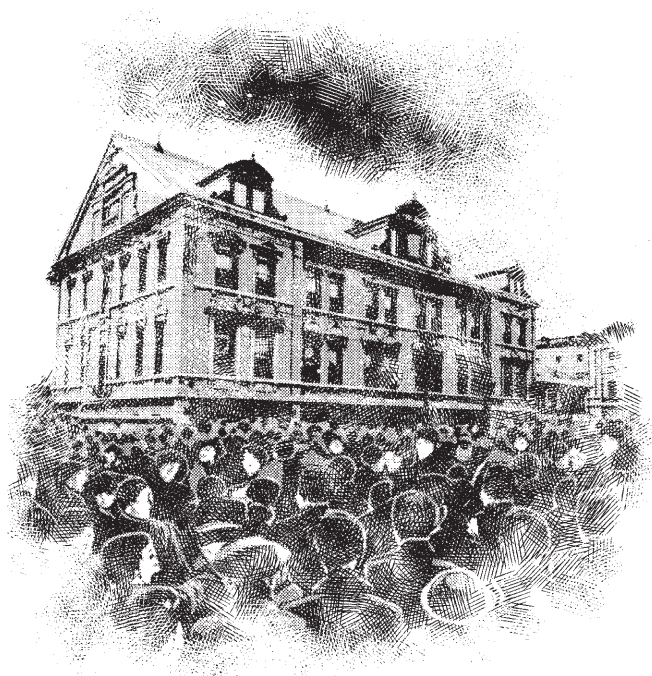


第2章

鈴木商店

米騒動・本店焼き打ち事件



大正七（一九一八）年
米価が暴騰

一般市民の
生活を苦しめ
社会不安が
増大した

成り上がり者の
鈴木が日本一だと
……？
気にいらねえな

後藤新平と金子直吉
ロシア革命……
社会主義……
資本家と労働者階級
……そして米

「心得ぬ鈴木商店
敵国ドイツに米輸出」

心得ぬ鈴木商店
敵国ドイツに米輸出

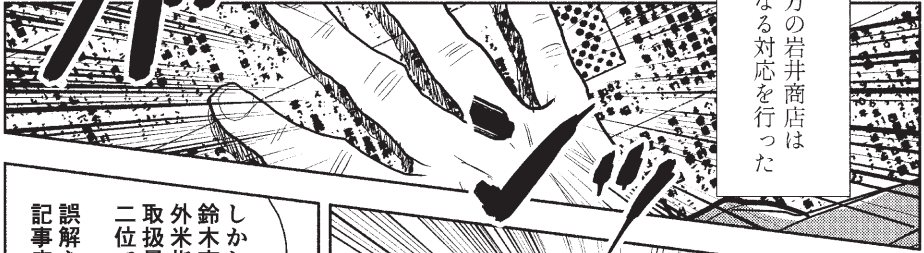
金子さんつ
どの記事も
嘘ばかりです
しっかり抗議
しましょう!!

ほっとけ
鈴木は何も
悪いこと
しとらん

鈴木商店は
外米指定商として
大量の外米を輸入し
米相場の安定に
力を尽くしていた

しかし
このま
では……

一方の岩井商店は
異なる対応を行った



ひどい記事だ
買い占めの疑いで
岩井の重役に
家宅捜査だと？



岩井商店は
投機など絶対に
しない

しかし我々も
鈴木商店と同じ
外米指定商
取扱量は三井に次ぐ
二位です
誤解を解くために新聞に
記事広告を出しましょう

法律顧問
今村力三郎



……わかった
やむをえない

急告

弊社が外米指定商タリシ爲メ弊社及弊
社重役が家宅搜索ヲ受ケタルガ如キ新
聞記事有之候へ共右ハ全然無根ニ有
之甚ダ迷惑ヲ相感シ居候次第ニ付此段
爲念廣告仕候也

大正八年六月十九日 株式会社

岩井商店
岩井勝次郎

そして七月二二日
富山で米騒動がはじまる

騒動は全国に
飛び火していく
ことになる……

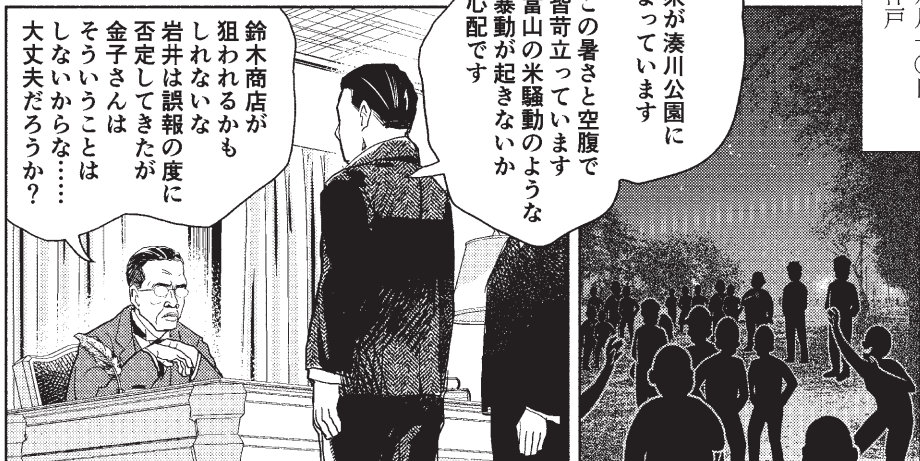


八月二〇日
神戸

群衆が湊川公園に
集まっています

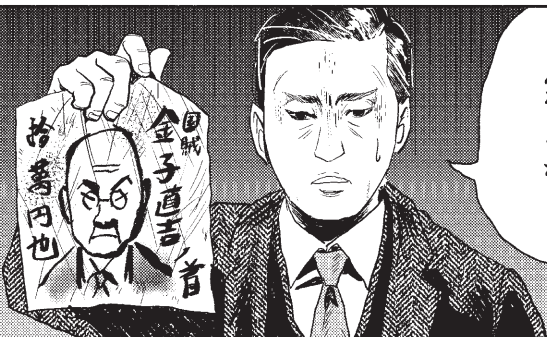
この暑さと空腹で
皆苛立っています
富山の米騒動のような
暴動が起きないか
心配です

鈴木商店が
狙われるかも
しれないな
岩井は誤報の度に
否定してきたが
金子さんは
そういうことは
しないからな……
大丈夫だろうか？



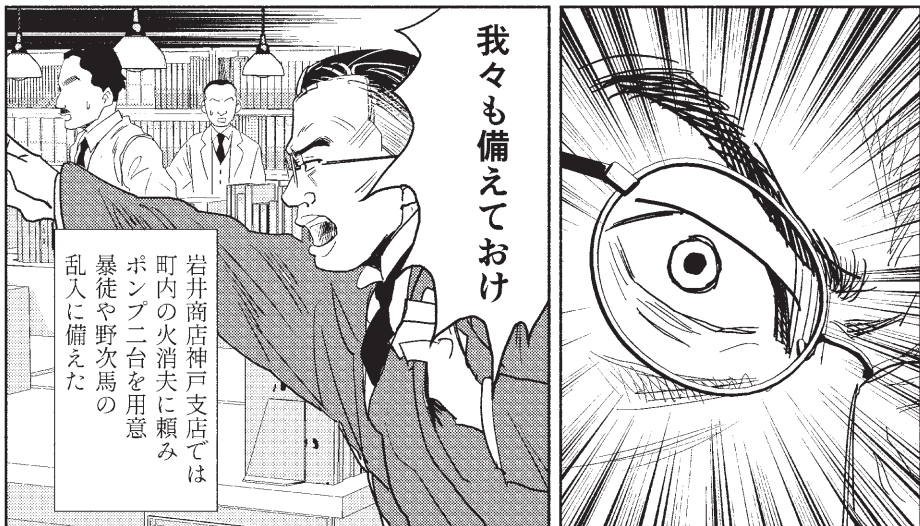
見てください
こんなビラが……

金子直吉の首に
一〇万円の賞金
ですって



我々も備えておけ

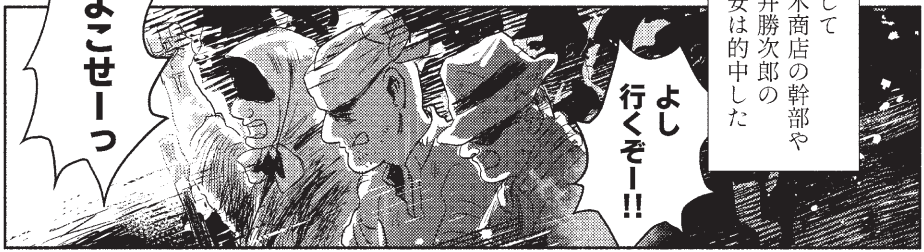
岩井商店神戸支店では
町内の火消夫に頼み
ポンプ二台を用意
暴徒や野次馬の
乱入に備えた



そして
鈴木商店の幹部や
岩井勝次郎の
不安は的中した

よし
行くぞー!!

米よこせーっ



群衆は湊川公園から
商店街を壊しながら進み
鈴木商店本店を包囲した

鈴木を倒せ!!

やっちまえ

悪いことをやって
いるに決まっている
でなきやあんなに
急に日本一にならん
だろう

そっじやーっ



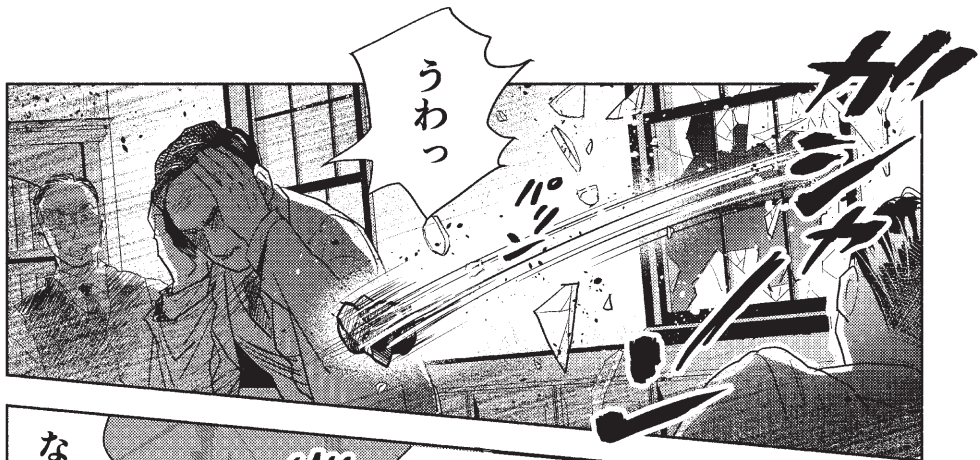
鈴木商店本店工務部

なんで
こんなことに……

鈴木は何も悪い
ことをしていない
我々工務部の皆も
日本各地に工場を
建設したりと
国民のために
働いてきた

本店工務部用度課長
矢野松三郎

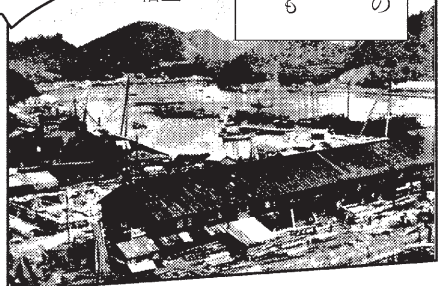




うわっ

急報は播磨造船所の
拡張工事を
請け負っている
大本百松のもとにも
伝わった

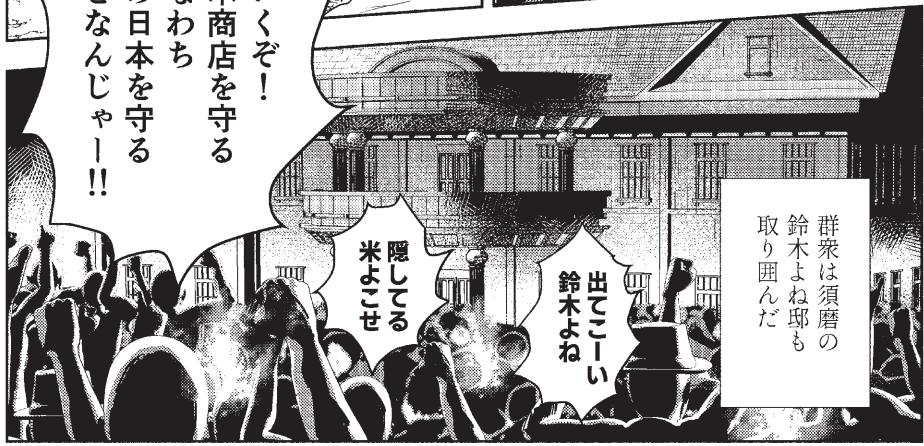
相生



なにいつ!!

百松さん大変です!
神戸で米騒動です
鈴木よね邸を守って
くれと……

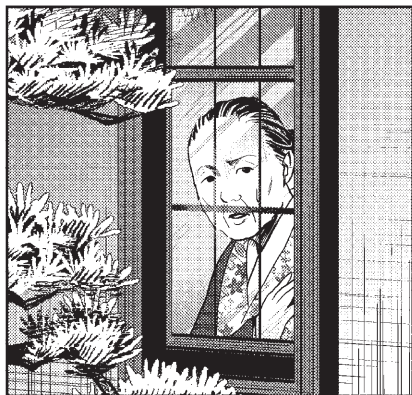
皆いぐぞ!
鈴木商店を守る
すなわち
この日本を守る
ことなんじゃー!!

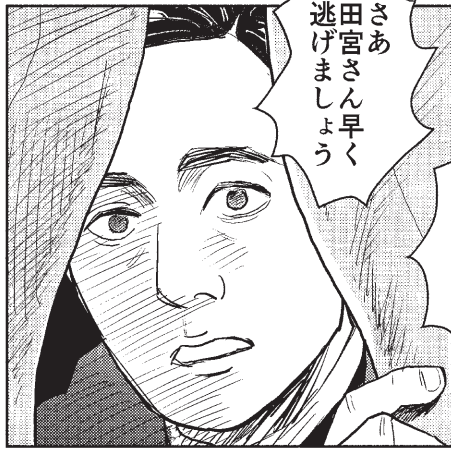


群衆は須磨の
鈴木よね邸も
取り囲んだ

出てこい
鈴木よね

隠してる
米よこせ





さあ
田宮さん早く
逃げましょう



おい
田宮さんの家の壁に
味噌を塗っておけ
昔から防火作用が
あると言われとる

わかりました！



あの炎はなんだ？



くっ
ばかやろう……！

……まさか
本店では……

暴徒化した群衆は襲撃、
略奪、放火に及び

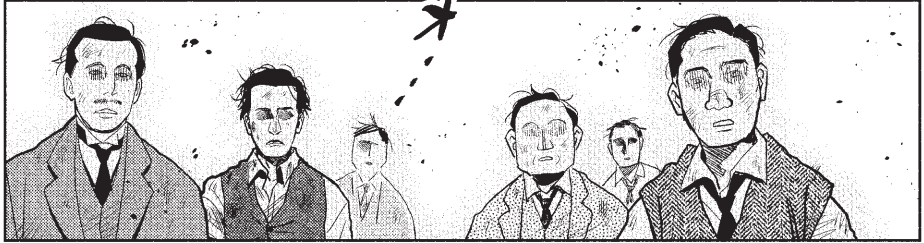
鈴木商店本店は
一日にして灰燼に帰した

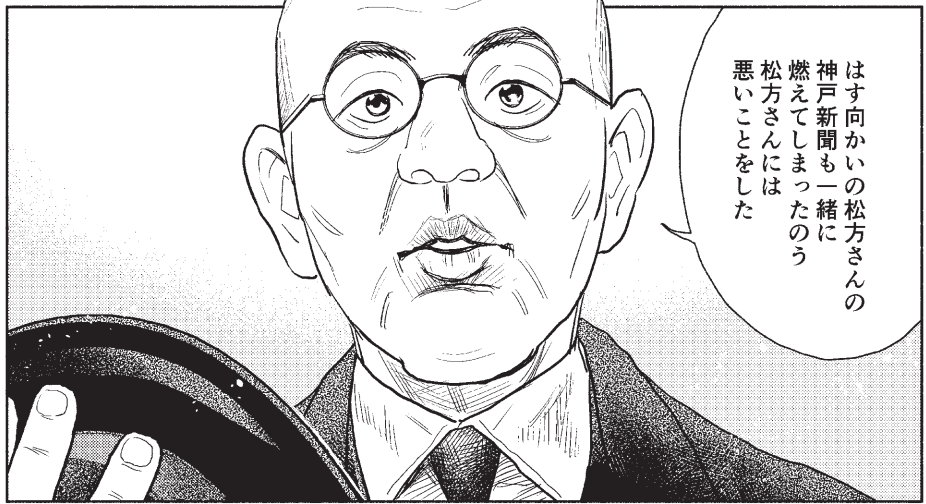
ほぼ同時期に
清水でも暴動が起き
鈴木商店製油所
清水工場にて
労働争議が起き
警察の仲介があつた

八月二二日
愛媛県宇和島の
日本酒類醸造

一連の騒動で鈴木商店は
関連施設でも
大きな被害を被った

鈴木商店の工場だ
燃やしてしまえ！
芋を焼酎にするな！！





はず向かいの松方さんの
神戸新聞も一緒に
燃えてしまったのう
松方さんには
悪いことをした



お
みんな無事か

金子
さん!!

金子さん

金子さん



気にするな
志と体があれば
なんでもできる!

この燃えかすは
神戸製鋼所の拡張の
ために埋め立てている
脇の浜に埋めよう



はいっ

しかし
鈴木商店本店
が……



そうは言っても……

本店ならすぐに再建するぞ
後藤回漕店の倉庫も借りてきた今はそこで鈴木商店の業務を行うこんな事でへこたれてたまるか

工務部の皆頼むぞ
鈴木の底力を今こそみせるんじや!!



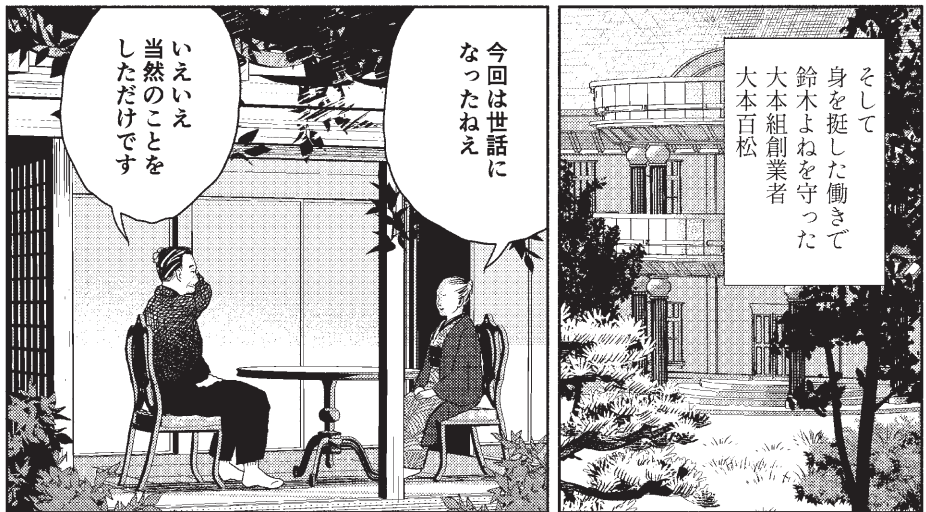
わかりました!

よっしゃあ

みせてやりますよ



鈴木商店本店工務部は昼夜を厭わぬ工事で二週間後には仮社屋を完成させた

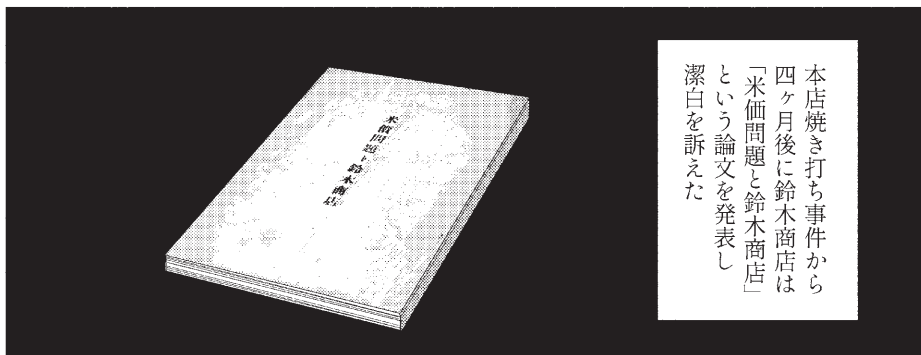
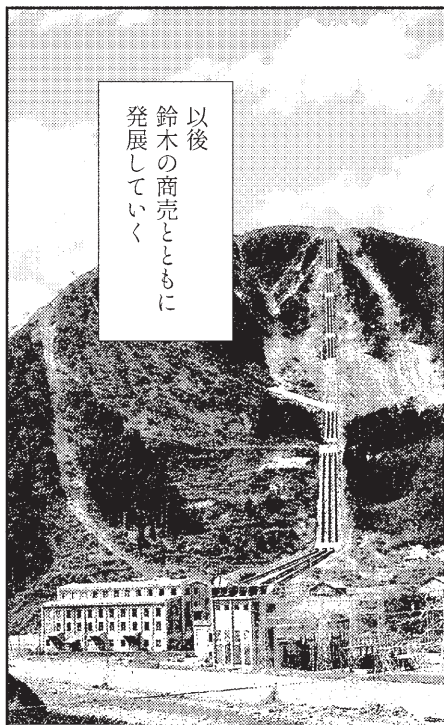


感謝したよねは
金一封を
渡そうとした

どうか
受け取って
おくれ

いえ
この大本百松
金で命は
売りません

しかし百松は
頑として受け取ら
なかったという



永井幸太郎
（日商創業者の一人）
が執筆したものと
いわれている



「鈴木商店は決して他を怨まず、
自らの不徳を責めて
益々国家社会のために貢献する」

鈴木商店を悲劇が
襲ったこの年
一月一日

日本の産業界と
双日の源流三社の
活況を支えた
第一次世界大戦は
終結した

反動不況がはじまり
猛烈なデフレが
日本を襲うことになる



そして米騒動での
心労がたたり

金子直吉の
補佐役であった
近代経営派の
西川文蔵(支配人)が
急死する
大正九(一九二〇)年の
ことであった

西川——っ!
おまんがいなければ
おまんがいなければ
……っ

この鈴木商店は
まとまらない!

なぜっ
なぜいま
死ぬんじゃ
西川ー!!

困難な局面で
西川を失ったことは
鈴木商店にとって
大きな痛手であった

あああああ